

かまひきこもり相談支援センターに関する事業報告

1. 総括

ひきこもり相談支援センターとして開設したことで、ひきこもりや不登校についての相談窓口として認知されるようになり、相談件数が増加しました。また、家から一歩踏み出すことを躊躇してある方と電子メールでつながることができ、ご本人が苦しい思いを抱えて暮らしていることを伺うこともできました。

ひきこもり家族会とともに、自宅以外に外出できる居場所としてのフリースペースを寄ってこハウスで開設し、ひきこもり状態にある本人や家族が延べ81人参加しました。自由に無理せず過ごせる居場所となるように、コーヒーやお茶を飲みながら、リラックスした中で行うことで、今まで話せなかった思いを語られることもありました。

また、「家からやっとフリースペースに来れた」「社会の役に立ちたい」「同じ悩みを抱えている方の相談相手になりたい」という声がありました。次年度は、当事者の方も参加できるようなひきこもり相談員研修を開催し、支える側となる仕組みや社会復帰、就労を視野に入れた個別支援を進める中で、中間的就労の場づくりにつなげていきます。

2. 事業実績

(1) 相談及び支援事業

①相談件数 77件（来所12件 訪問2件 電話35件 メール4件 その他24件）

②家族の集い定例会の開催(月1回)

回数/12回 参加者数/81人 場所/寄ってこハウス

内容/ひきこもりの家族をもつ方々が集い、自由な時間を過ごすとともに、就労に向けた話し合いなども行った。

(2) ひきこもりに関する啓発事業

①ひきこもりの支援等に関する勉強会の開催

開催年月日 平成27年6月18日（木）

参加者数 8人

場所 寄ってこハウス

テーマ 「子どもを信じること」

講師 親の会「ほっとケーキ」支援者 湯越由美子さん

(3) 居場所づくりの推進

①フリースペースの開設(毎週1回)

開設回数 49回（毎週1回）

延べ参加者数 333人

場所 寄ってこハウス

内容 コーヒー等を飲みながらの語らい、トランプ、ビリヤードを楽しむなど、自由な時間を過ごしました。

(4) その他

①筑後市社協・校区福祉役員 視察研修

開催年月日 平成27年9月4日（金）

参加者数 24人

場所 寄ってこハウス

内容 寄ってこハウスでフリースペースを開設した経緯や、自宅中心の生活を送っておられる方と接する中で感じていることなどについて説明。「つながり」の方からは、親が子どもの状況を隠していたら、もっと子どもは外に出づらくなるということ、同じ悩みを持つ者同士で語り合うことの大切さや、社会には偏見があり、あたたかく見守る環境でなければならないことなどの話があった。

②親の会サルビア会との交流会

開催年月日 平成27年12月5日（土）

参加者数 親の会サルビア会8人、家族会つながり8人

場所 寄ってこハウス

内容 筑後地区不登校・ひきこもり家族会 サルビア会と家族会つながりで交流会を開催した。寄ってこハウスに集まり、抱えている思いや悩みについて話し合った。

③第1回 福岡県ひきこもり者支援実施社協連絡会への参加

開催年月日 平成28年2月17日（水）

参加者数 11社協14人

場所 寄ってこハウス

内容 各社協のひきこもり者支援の取り組み状況及び、今後の連絡会について